

高知県元気な未来創造戦略の全体像（案）

（目次）

- 第2期高知県まち・ひと・しごと創生総合戦略の実行3年半の総括・・・・・・・・・・ 1～2
- 高知県元気な未来創造戦略の全体像・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3



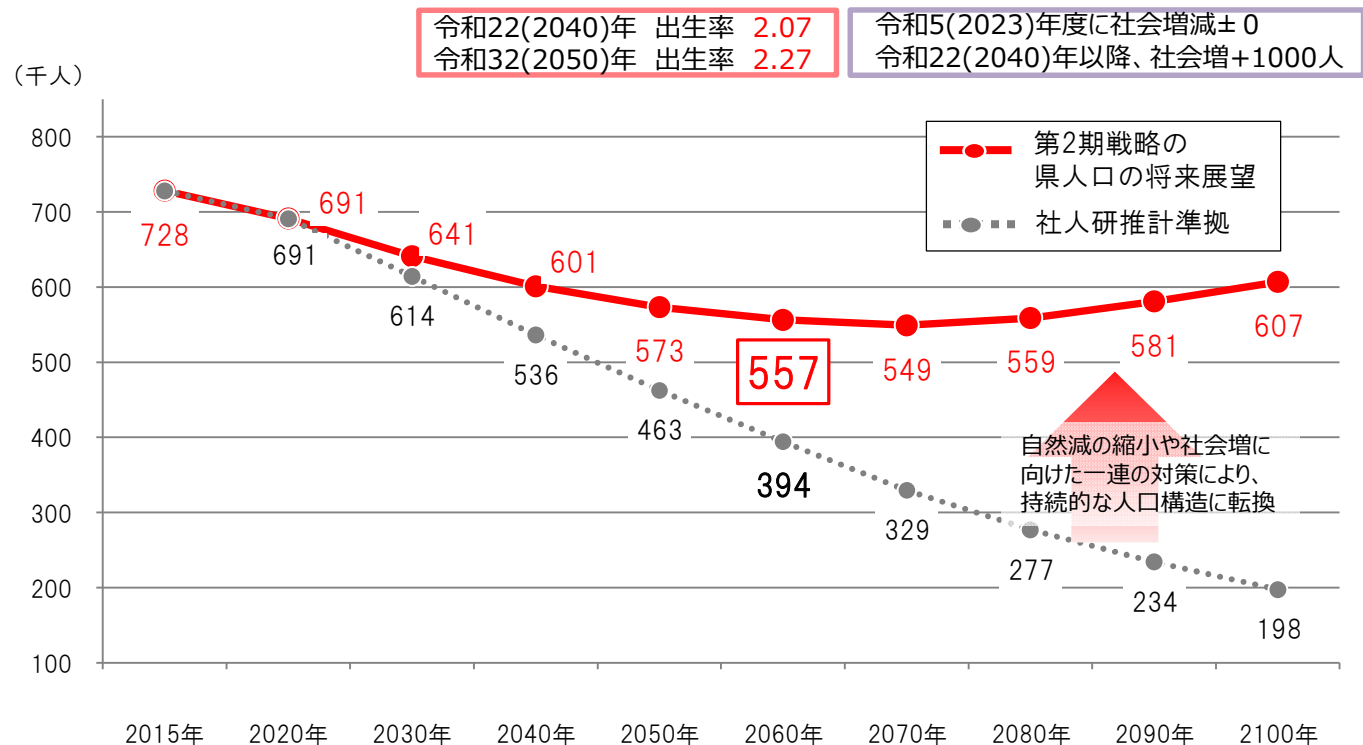
第2期高知県まち・ひと・しごと創生総合戦略の実行3年半の総括①

■ 目指す姿「地産外商が進み、地域地域で若者が誇りと志を持って働ける高知県」に向けた総合戦略の施策の展開

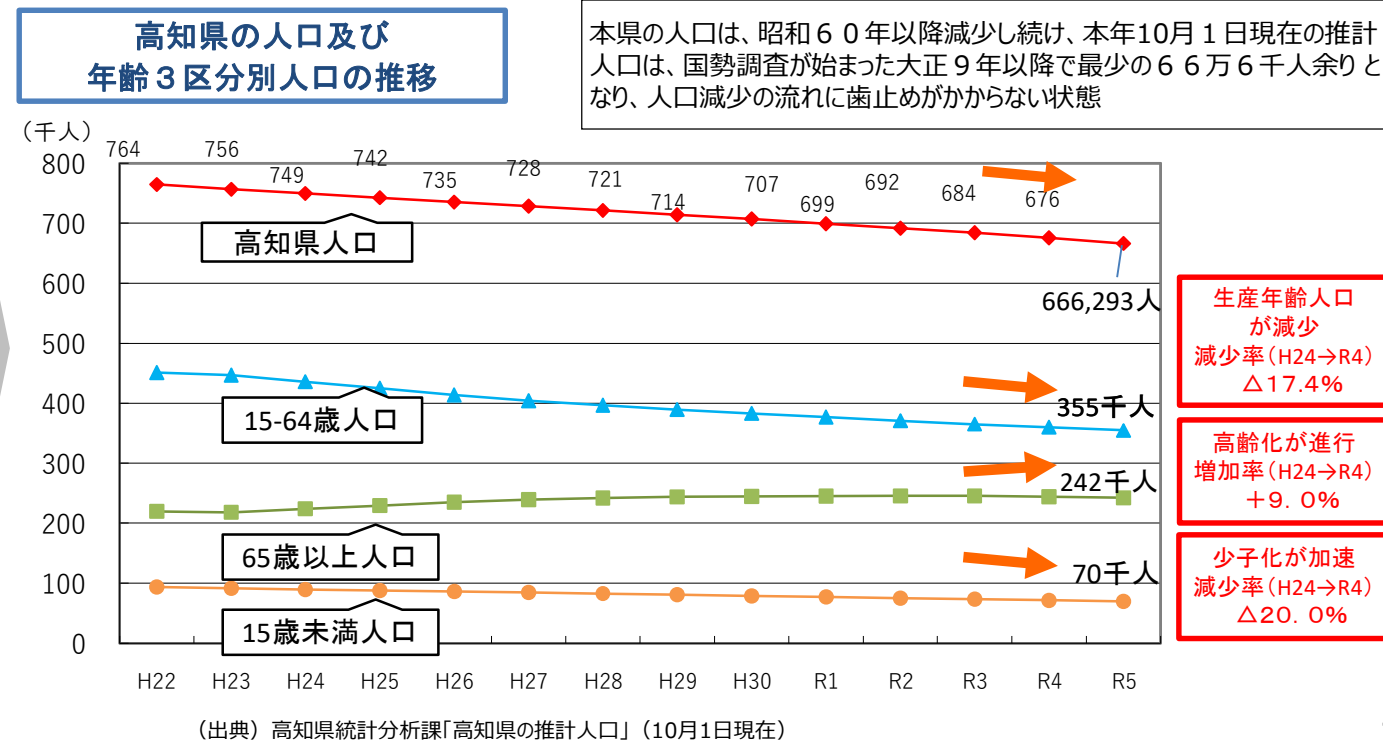


高知県人口等の現状

1 高知県人口の将来展望の概要



2 高知県の人口(高知県推計人口)



第2期高知県まち・ひと・しごと創生総合戦略の実行3年半の総括②

基本目標1 地産外商により魅力のある仕事をつくる

- 各産業分野における産出額等 (単位) 億円
 - ・農業分野 農業産出額等 H30 : 1,177 → R3 : 1,078
 - ・水産業分野 漁業産出額(宝石サンゴを除く) H30 : 497 → R3 : 451
 - ・商工業分野 製造品出荷額等 H30 : 5,945 → R3 : 6,015
 - ・観光分野 県外観光客総消費額(宿泊及び土産物等) H30 : 1,104 → R4 : 828

- 雇用創出数
 - 第3期産業振興計画(H28-R元までの4年間) : 3,892人 → 第4期産業振興計画(R2-R4までの3年間) : 2,076人

▶ 令和2年度から令和4年度までの3年間で2,076人の雇用を創出したが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標とする4年間で4,000人の雇用創出は未達

■雇用創出数	R2	R3	R4	R5 (人)
目標(累計)	4,000(4年間)			
実績	711	646	719	—
	累計2,076			

【課題】若者や女性からニーズがある企業のさらなる誘致や魅力ある産業の創出に加え、賃金の引上げ・女性の労働環境の改善などが必要

【強化の方向性】若年層の雇用の受け皿となる企業誘致の推進、起業の促進、県内事業者の魅力向上(県内企業の賃上げ等の促進、ワークライフバランスの推進、女性活躍の環境づくりの推進)、地域の資源や特性を生かした産業振興

基本目標2 新しい人の流れをつくる

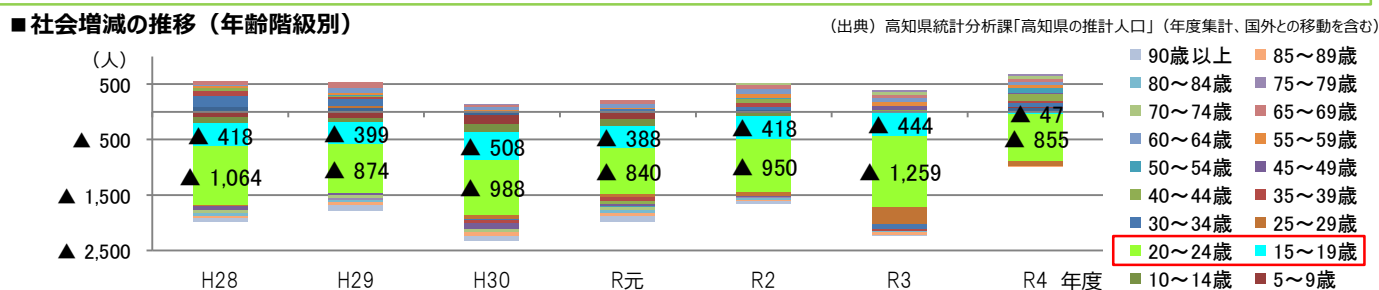
- 人口の社会増減 H26~H30年度の平均 : ▲1,738人 → R4 : ▲324人 (※) 高知大、県立大、工科大、高知高専、高知学園短大、看護専攻科(東、中央)

- 県内就職率 高校生 H30 : 66.9% → R4 : 71.6% 県内大学生等(※) H30 : 37.2% → R4 : 36.0%
- 専門高校生 H30 : 71.7% → R4 : 72.8% 県出身県外大学生 H30 : 18.4% → R4 : 21.3%

- 移住者数 H30 : 934組 → R4 : 1,185組

- 県内で就労する「技能実習」及び「特定技能」の外国人労働者数 R2 : 2,236人 → R4 : 2,446人

▶ 社会減が継続しており、「15歳~24歳」の年齢層の社会減の割合が高い



【課題】ターゲットや各段階に応じた県内教育機関へのアプローチ・情報発信の強化が必要。また、外国人材の受入体制や支援策のさらなる充実が必要

【強化の方向性】県内就職と移住促進策の強化、外国人材の活躍促進

基本目標の施策を下支えする取組 デジタル実装の基礎条件整備

R5年度から追加

- デジタルデバイト対策に取り組む市町村数 R4 : 15団体
- 県内就職率光ファイバの県内整備率 R4 : 99.5%
- マイナンバーカード普及(保有枚数)率 R4 : 63.3%

【課題】デジタル実装を行うために必要な専門的なデジタル知識・能力を有する人材の確保が不可欠

【強化の方向性】デジタルインフラ整備、デジタル人材の育成・確保

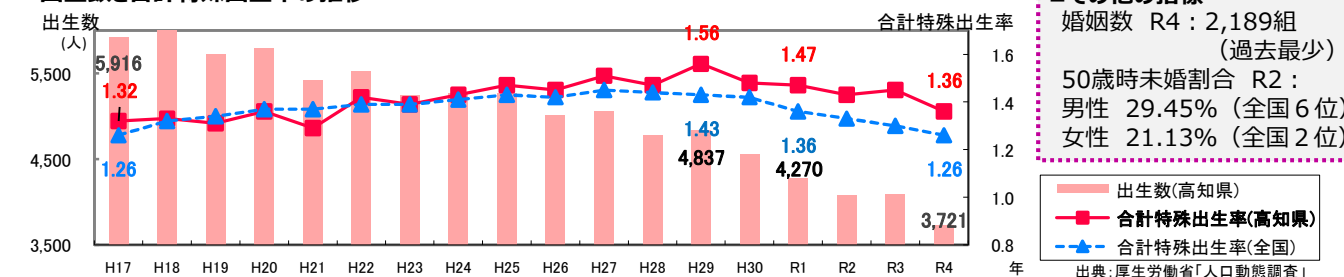
基本目標3 「結婚」「妊娠・出産」「子育て」の希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する

- 合計特殊出生率 R元 : 1.47 → R4 : 1.36

- 高知県が安心して「結婚」「妊娠・出産」「子育て」ができるような社会になっていると考える人の割合 R元 : 28.1% → R4 : 22.0%

▶ 出生数・婚姻数は減少傾向。令和4年の出生数は全国最少の3,721人となり、早期の改善が急務

■出生数と合計特殊出生率の推移



■その他の指標

婚姻数 R4 : 2,189組 (過去最少)
50歳時未婚割合 R2 :
男性 29.45% (全国6位)
女性 21.13% (全国2位)

【課題】出会いの機会の創出・安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくりが必要

【強化の方向性】出会いの機会の創出、安心して妊娠・出産・子育てできる体制づくりの更なる強化

基本目標4 高齢者の暮らしを守り、若者が住み続けられる中山間地域をつくる

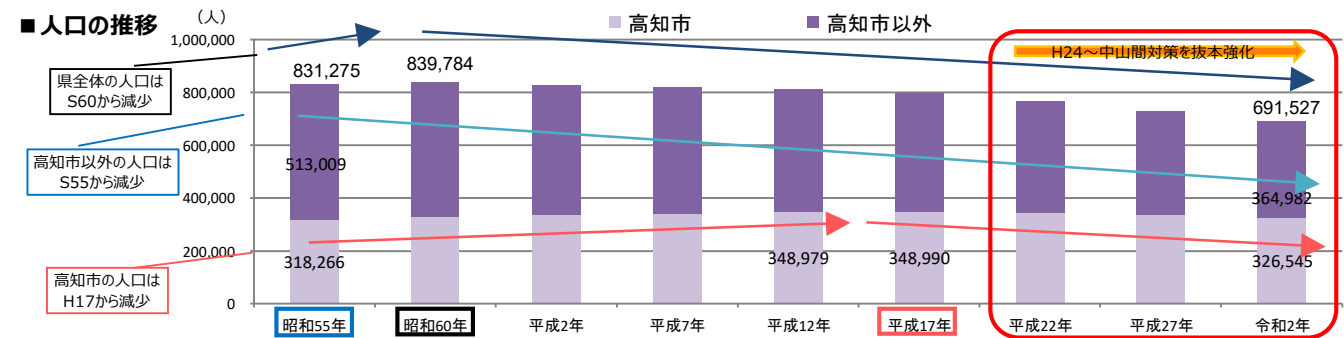
- 集落活動センター R元 : 59か所 → R4 : 65か所

- 居住介護利用者の平均要介護度(※) R元 : 2.095 → R4 : 2.117

※要介護度が重くなったとしても、住み慣れた地域(在宅)で暮らし続けられているかを確認する指標

在宅での暮らしを希望する方への支援体制を充実させることにより、要介護度が重くなっても在宅で暮らす方の割合が増えれば当該指標は上昇する。

▶ 集落活動センターが県内65箇所に整備されるなど、一定の成果は現れているが、若者、とりわけ若年女性の流出が多いことも影響し、人口減少や少子化が進行している



【課題】高齢者や若者が地域で住み続けられるよう取り組みの継続や暮らしへの支援の充実が必要

【強化の方向性】中山間地域での医療・介護サービスの確保等を推進するとともに、「中山間地域再興ビジョン」を策定し、少子化対策と一体となった新たな中山間対策を推進

全体総括

- 社会増減で一定の成果が見られるものの、出生数などの人口動態が大きく改善するまでには至っていない
- 次期戦略においては、人口減少対策により重点を置き、「若年人口の増加」「婚姻数の増加」「出生率の向上」に向け、各施策群を抜本強化する

人口減少の要因



■ 若年人口の増加により、持続可能な人口構造への転換を図るため、3つの目指すべき高知県像の実現に向けて施策を総動員

目指すべき高知県像

いきいきと仕事ができる高知

産業振興計画 等

いきいきと生活ができる高知

教育大綱、健康長寿県構想 等

安全・安心な高知

南海トラフ地震行動計画 等

戦略の目指す姿 「将来を担う若者が、地域地域で魅力のある仕事に就き、いきいきと住み続けられる元気な高知県」

A 若年人口の増加

政策1
魅力ある仕事をつくり、若者の定着につなげる

B 婚姻数の増加

政策2
結婚の希望をかなえる

C 出生率の向上

政策3
子どもを産み、育てたい希望をかなえる

出生数の増加

社会増の達成

若年人口増加の好循環

人口の将来展望

若年人口の増加により、持続可能な人口構造への転換を図る

《将来展望》

人口 2060年：約55.7万人
[現状(2023年)：66.6万人]

出生率 2040年：2.07、2050年：2.27
[現状(2022年)：1.36]

社会増減 2040年：1,000人の社会増
[現状(2022年度)：324人の社会減]

政策1 魅力ある仕事をつくり、若者の定着につなげる

産業振興計画により推進

数値目標 (R9)

- ①若年人口(34歳以下)：「若年人口の減少数(前年比)をゼロ」とする
- ②就業者数(15～34歳)：61,500人
- ③人口の社会増減：「社会増減をプラス」にする

【基本的方向】

1 魅力のある仕事をつくる

- (1) 県内事業者の魅力向上
- (2) 起業のさらなる促進
- ①事業者の賃上げ環境の促進
- (3) 若年層の雇用の受け皿となる企業誘致
- ②女性活躍の環境づくりの推進
- ③多様な人材が定着・活躍しやすい労働環境の整備

2 新しい人の流れをつくる

- (1) 県内就職の促進
- (2) 移住の促進
- (3) 外国人材の活躍推進

政策2 結婚の希望をかなえる

数値目標 (R9)

○婚姻件数：2,500組

【基本的方向】

- 出会いや結婚を後押しする
- (1) 出会いの機会の創出
- (2) 結婚支援の推進



政策3 子どもを産み、育てたい希望をかなえる

数値目標 (R9)

- ①出生数：4,200人
- ②合計特殊出生率：1.64
- ③高知県が安心して「結婚」「妊娠・出産」「子育て」できるような社会になっていると考える人の割合：50%

【基本的方向】

- 安心して妊娠・出産・子育てできる体制づくり
- (1) 理想の出生数を叶える施策の推進
- (2) 住民参加型の子育てしやすい地域づくり

政策実現に向けた条件整備

1 固定的な性別役割分担意識の解消

数値目標 (R9)

- ①家庭生活における男女平等意識：50%
- ②職場生活における男女平等意識：50%

【基本的方向】

「共働き・共育て推進高知モデル(仮称)」の実現に向けた重層的な取組をオール高知で推進

2 中山間地域の持続的な発展

数値目標 (R9)

- ①若年人口(34歳以下)の減少数(前年比)をゼロとする中山間地域の市町村数：34市町村
- ②県外からの年間移住者数：3,000人以上

【基本的方向】

- 中山間地域再興ビジョンに基づく取組の推進
- (1) 若者を増やす
- (2) 暮らしを支える
- (3) 活力を生む
- (4) しごとを生み出す

3 デジタル実装の土台づくり

数値目標 (R9)

- ①居住地における光ファイバ等整備率(希望世帯ベース)：100%
- ②高知デジタルカレッジにおける人材育成者数：400人

【基本的方向】

- デジタル実装を下支えする取組の推進
- (1) 情報通信インフラの整備
- (2) デジタル化を支える人材の育成・確保

地域の实情に合わせて人口減少対策に取り組み市町村を「人口減少対策総合交付金」によりサポート